

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告 (https://www.fujimiinc.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 及び照会先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話無料)

## 株式会社フジミインコーポレーテッド

お問い合わせ先：経営企画部経営企画課  
TEL：052-503-8181 (代表)  
URL：https://www.fujimiinc.co.jp

Copyright (C) 2022 Fujimi Incorporated. All rights reserved.

### 各種手続のお申出先

- 支払期間経過後の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等  
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。  
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

### 【ご注意】

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問合わせください。

特別口座管理機関 連絡先  
日本証券代行株式会社  
〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
電話 0120-707-843 (通話無料)



この印刷物は、適切に管理された森林で生産された木材を使った環境配慮型のFSC®認証紙と、植物油を使用し、VOCの排出を抑えた環境対応型リサイクルインキ「ベジタブルインキ」を使用しております。

株式会社フジミインコーポレーテッド 株主通信

# FUJIMI TODAY vol.55

2022.4.1 ~ 2022.9.30

2022年12月発行

## 特集

## フジミの Water Offset 活動

技術を磨き、心をつなぐ



証券コード 5384



### お客様目線の実践

パウダー&サーフェスカンパニーへの進化

「働きがい」と「働きやすさ」の醸成

当事者意識とやり抜く力の確立

革新への挑戦

# 技術を磨き、心をつなぐ

私たちの「磨く技術」は半導体をはじめとした  
さまざまな産業で活かされています。

フジミはお客様にあらゆる製品を  
磨いていただくことで、

人々が快適に暮らせる未来の創造に  
貢献します。



代表取締役社長

## 関 敬史

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 》上期を振り返って

当社グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルスの世界経済への影響が長引き、国際情勢の悪化を背景にした資源・エネルギー価格の高騰による物価上昇が継続しました。米国の連続的な大幅利上げや、欧州のゼロ金利政策からの転換に伴い世界的な景気後退懸念が高まり、世界経済の不透明感は強まりました。

世界半導体市場は、パソコン及びスマートフォン市場の落ち込みに伴いロジック、メモリデバイスともに需要は軟化し、在庫の増加が見られました。一方で、当社製品の主要用途先である先端半導体においては引き続き高い稼働が続きました。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高31,097百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益7,819百万円（前年同期比27.0%増）、経常利益8,293百万円（前年同期比30.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,155百万円（前年同期比28.1%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益はいずれも過去最高となりました。配当金につきましては、1株につき、中間配当を期初予想の95円から15円増配の110円（前年同期比25円増）とし、年間配当は期初予想の200円

から20円増配の220円（前期比35円増）とする予定です。

### 》成長への取り組み

当社が主たる事業領域としている半導体市場は、足元で需要は減速するも、中長期的には成長を続けており、将来的にも拡大が見込まれています。当社においても将来的に更なる需要増加が見込まれることを鑑み、製品の安定供給に向けた設備投資を進めるとともに、次世代製品開発や品質保証に関するお客様の要求水準を満たすべく研究開発や品質保証のレベル向上を図ってまいります。

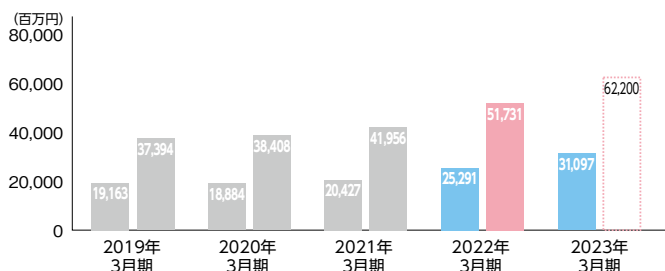
また、2022年2月20日に、当社及び当社の子会社であるFUJIMI TAIWAN LIMITEDは、第三者からの不正アクセスを伴うサイバー攻撃を受けシステム障害が発生し、一部製品の生産と出荷の見合わせ、2022年3月期決算発表に遅れが生じるなどの影響がありました。不正アクセス発覚後、社内に対策本部を立ち上げ、調査・探索・復旧に取り組み、8月より社内システムは本格稼働しております。今回のサイバー攻撃を教訓に、サイバーセキュリティを含めた緊急事態に備える事業継続計画を拡充し、事業継続力の強化に取り組んでまいります。

皆様のご厚情に感謝するとともに、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

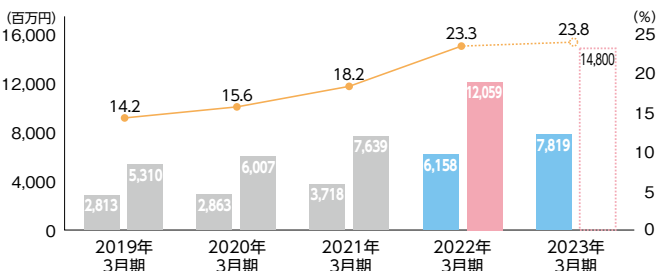
### 連結決算ハイライト

■ 上期 ■ 通期 ● 通期 ※2023年3月期通期予想値

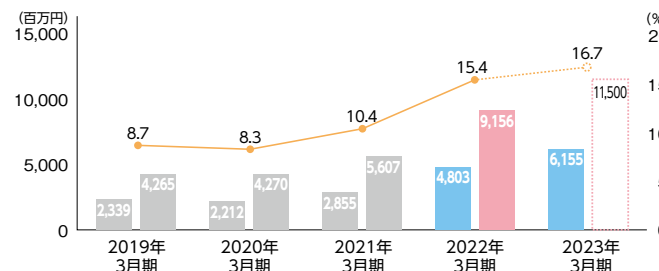
#### ■ 売上高



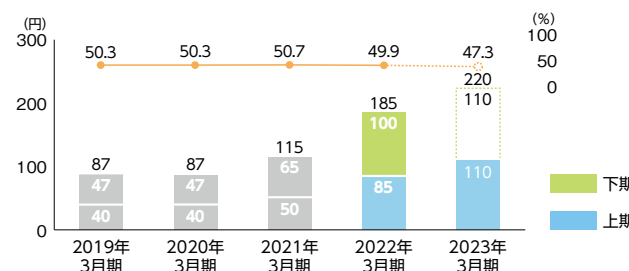
#### ■ 営業利益・営業利益率 折れ線グラフ: 営業利益率 (右軸)



#### ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・ROE 折れ線グラフ: ROE (右軸)



#### ■ 配当金・連結配当性向 折れ線グラフ: 連結配当性向 (右軸)





# フジミの Water Offset 活動

当社製品の製造および品質には、「水」が重要な役割を担っています。

今号では、使用した水を自然に返すこと (= Water Offset) をスローガンに、当社生産拠点が集中する岐阜の水源地の環境を守る Water Offset 活動についてご紹介します。



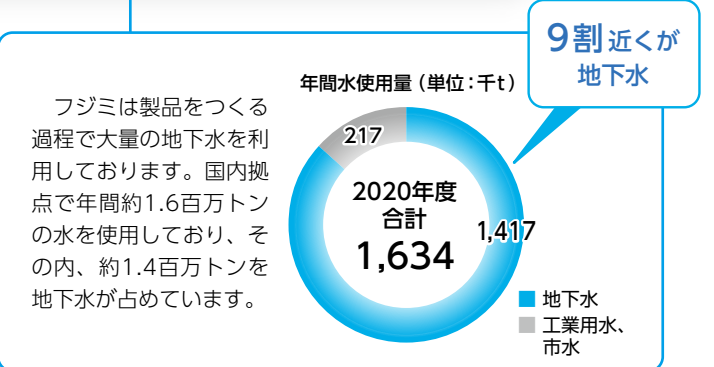
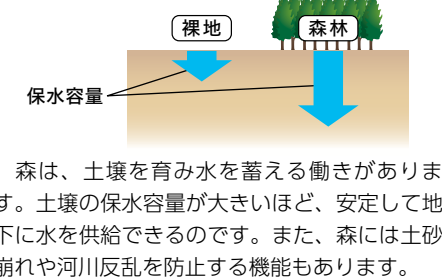
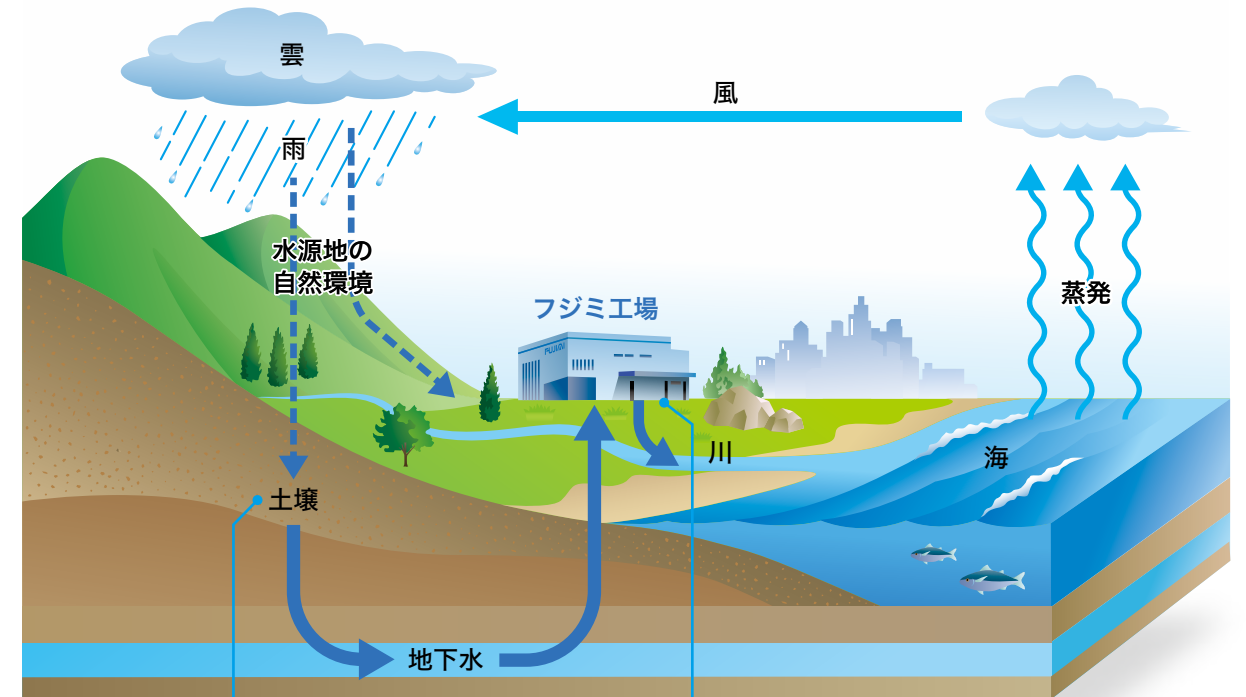
## Water Offset 活動のきっかけ

WaterOffset 活動は、社会貢献への取り組みの一つとして、2020年4月に開始しました。当社は、これまでも社会福祉協議会への寄付、地域清掃、自然災害を被った被災地への義援金拠出など社会貢献活動を行ってきましたが、2020年10月に創業70周年を迎えるにあたり、会社を挙げて新たな取り組みを検討しました。

当社の製品は大別すると、粉体とスラリー（液体研磨材）に

分れます。粉体は、その製造工程で多くの水を使用し、スラリー（液体研磨材）には、水に含まれる不純物を取り除いた超純水を使用しています。国内拠点では、年間約1.6百万トンと多くの水を使用しており、その内9割近くを地下水が占めています。当社製品に欠かせない「水」に紐づいた活動こそ当社が取り組むべき社会貢献活動と考え、生産拠点が集中する岐阜の水源地の環境を守る、維持する活動に携わることにしました。

水循環のイメージ図



次ページでは、フジミの製造工程における水の使われ方を紹介します

# フジミの製造工程

研磨材 粉体

製造工程

1 原料投入

2 粉碎

3 分級

4 乾燥

5 篩い

6 充填梱包

7 製品出荷

## 1 原料投入

サプライヤーより仕入れた原料を投入します。原料と水(地下水)を混ぜ、スラリー化させて次工程へ送り出します。



粉体 (スラリー化)

## 2 粉碎

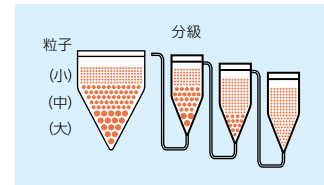
スラリーにした原料を投入し、粉碎機の回転数や時間などを調整することで原料を目的とする粒子サイズ(1~ 100 $\mu$ m)に粉碎します。



粉碎機

## 3 分級\*

分級工程では、水流を用いて細かい粒子と大きな粒子とで、水中で沈む速度が異なることを利用し、形状や大きさの揃った粒子を取り出しています。



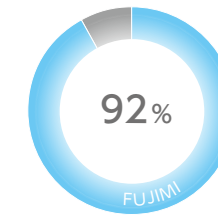
分級のイメージ

## 6 充填梱包

一連の工程を経てでき上がった製品を充填梱包し、出荷します。当社の製品は、多くの国で使用されています。



製品FO



参考：世界シェア (自社統計 2021年3月期)  
半導体シリコンウェハー ラッピング材

## 7 製品出荷

研磨材 スラリー

製造工程

1 原料投入

2 計量

3 添加剤溶解

4 混合

5 ろ過

6 充填梱包

7 製品出荷

## 1 原料投入

地下水の不純物を取り除いた超純水を原料投入から、添加剤の溶解、混合工程で使用しています。混合には、原材料のチェックから計量、混合順序や攪拌時間の調整など多岐にわたるプロセス管理が必要となります。



混合タンク

## 3 添加剤溶解

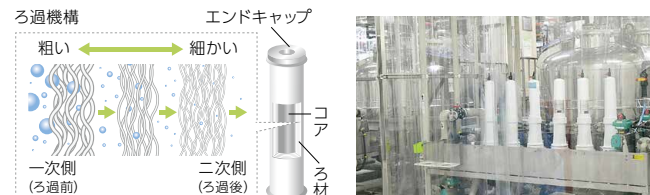


クリーンルーム内での作業

## 4 混合

## 5 ろ過

ろ過工程では、前工程で混ぜ合わせた原料、添加剤をろ過します。ろ過することにより磨いた時にキズの原因となる粗大粒子や異物を取り除き、粒子サイズを均一にします。



ろ過イメージ



ろ過装置

## 6 充填梱包

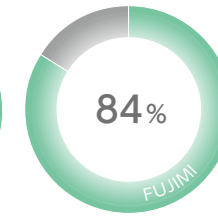
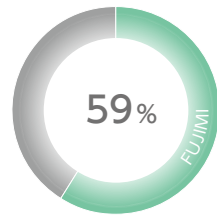
充填梱包工程では、ろ過した製品を、超純水で洗浄した容器に充填梱包し、出荷しています。



製品GLANZOX

## 7 製品出荷

仕上げ前ポリシング材    ファイナルポリシング材



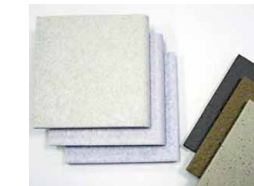
参考：世界シェア (自社統計 2021年3月期)  
半導体シリコンウェハー ポリシング材

## 排水



排水設備

製造工程で使用した水は、不要な微粉などが含まれていますので、排水設備にて不要な微粉と水に分離処理します。



不要な微粉はタイルの原材料などに再利用されます。



分離処理した水は川へ排水しますが、当社では地域の排水基準よりも厳しい基準を用いています。

| 分級 種々の粒径が混ざった砥粒から、一定の粒径分布を持つものを得るための方法

次ページでは、Water Offset 活動内容を紹介します



## Water Offset 活動場所と内容 ～石徹白～

当社は岐阜県郡上市にある石徹白でWater Offset活動に取り組んでいます。石徹白は人口約250人の集落で、白山の南麓標高700mに位置する自然豊かな場所にあり、白山信仰など、歴史が深く文化が脈々と受け継がれた地域でもあります。石徹白では、その土地に宿る知恵や精神を継承しながら、時代にあわせた「持続可能な農村」を目指す取り組みが、地域のさまざまな団体によって行われています。私たちは、小水力発電・森づくり・歴史勉強会などに取り組んでいる「NPO法人やすらぎの里いとしろ」と協働し、活動を行っています。



石徹白 (岐阜県郡上市白鳥町)

Water Offset 活動は、動画でもご紹介しております。  
こちらのページまたは右記二次元コードよりご覧いただけます。  
<https://www.fujimiinc.co.jp/csr/action/wateroffset.html>



●FUJIMI 社会貢献活動  
(water offset活動) の紹介  
vol.1



●FUJIMI 社会貢献活動  
(water offset活動) の紹介  
vol.2

## 森づくり

当社の製品づくりには大量の地下水を使用するため、当社製造拠点が集中する岐阜で、森づくりを行うことにより、水源の水の保有容量を増やすことで補いたい (Offset) と考えております。当社の森づくりは、皆伐跡地を対象としており、場所によっては人の背丈以上の高さまで笹が覆い、その他の木々が生育し難い状態になっています。そのような場所で、人が手を加えて木々が生き茂る森の再生を促進させます。森の再生は、1～2年で結果がでるようなものではなく、数十年の時間を要します。森は土壌を育て、水を蓄えるとともに安定して地下に水を供給するだけでなく、豪雨による土砂崩れや河川の氾濫リスクも軽減します。当社は、森づくりを通じて、水源地の自然環境を守り、土壌の保水容量を維持もしくは増やすことで、持続可能な企業活動と地域社会への貢献を目指しています。



現在は、森の再生に関して知識を深めつつ、その土地にあった樹種で森の再生を試みたいと考え、石徹白の森から種子や苗を拾い、来春から植樹が開始できるように準備を進めております。

## ボランティア

石徹白での活動にボランティアとして参加しています。

### 白山の清掃登山

白山には水の神様が祀られており、その登山道では自然の神秘や信仰にふれることができます。登山道の清掃、オオバコ等の外来植物を除去する活動を通じて水を祀る白山を守る文化を学びます。



### 井普請 (いぶしん)

井普請は、郡上や飛騨地方で使用される言葉で、田に引く水路の清掃のことです。水路や側溝などに溜まった枝や落ち葉、土砂などを集落全体で除去・清掃する活動で、春の田植えに備えます。



### 人工産卵床づくり

人の手により、産卵床 (魚が産卵しやすい環境) を整備する活動です。川底の泥をかき出して綺麗にし、サイズ別に仕分けしておいた石や砂利を大きいものから順に川床に並べ戻すことで産卵しやすく、稚魚が休める環境を作ります。小川の一部に魚を計測できる仕組みを作り、毎年何匹成長したかをモニタリングします。



## 農業体験交流

当社と石徹白のお互いのことをよりよく知るための活動です。石徹白の特産品の一つにトウモロコシがあります。昼夜の寒暖差が大きい石徹白でできたトウモロコシは糖度が15%と、とても甘いのが特長です。特産のトウモロコシ農業を体験し、石徹白の人達と共に収穫を行うなどして交流を深めています。また、収穫したトウモロコシは従業員に配布し、きれいな水の恵みで育ったトウモロコシを食すことで「水の大切さ」を実感しています。



## 用途別の動き

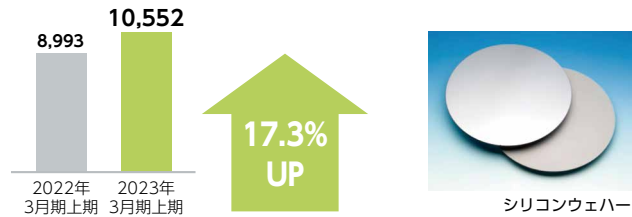
### シリコンウェハー用

売上構成比 34.0%

半導体業界の高い稼働に支えられ、ラッピング材の売上高は3,538百万円(前年同期比18.5%増)、ポリシング材の売上高は7,013百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

半導体基板となるシリコンウェハーを高精度に平坦化・鏡面化する研磨工程で用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■売上高(単位:百万円)



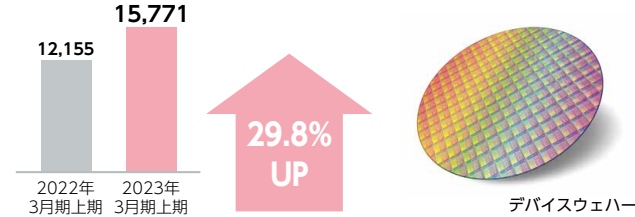
### CMP用

売上構成比 50.7%

ロジック、メモリ向けともに需要が好調に推移したことに加え、為替の影響もあり、売上高は15,771百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

半導体デバイスの製造工程で用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■売上高(単位:百万円)



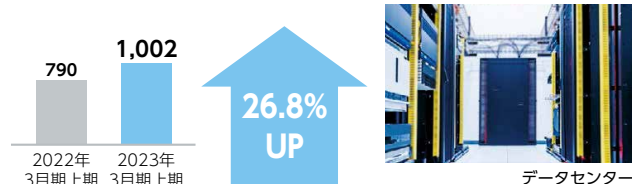
### ディスク用

売上構成比 3.2%

SSD(ソリッドステート・ドライブ)への置き換えが進むも、サーバー向けHDD(ハードディスクドライブ)の需要増加に加え為替の影響もあり、売上高は1,002百万円(前年同期比26.8%増)となりました。

デジタルデータの記録媒体であるハードディスクドライブ用ディスク基板の製造工程に用いられる研磨材を研究開発し製造販売する事業です。

■売上高(単位:百万円)



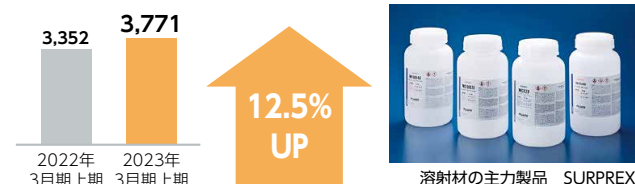
### 一般工業用・その他

売上構成比 12.1%

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、自動車及び産業機械向け需要の回復もみられ、売上高は2,338百万円(前年同期比9.2%増)、その他につきましては、1,432百万円(前年同期比18.2%増)となりました。

多種多様な用途向けに研磨材や機能性材料を提供しております。また、半導体装置、航空機及び鉄鋼などさまざまな業界の溶射用途向けに溶射材を提供しております。

■売上高(単位:百万円)



## NEWS&TOPICS

### 各務原市 新特別支援学校整備事業に寄附

当社は、岐阜県各務原市に各務原工場をはじめとした複数の生産拠点、事業拠点を置いております。このたび各務原市が進める新特別支援学校整備事業に賛同し、寄附を行いました。

本事業は、各務原市内に小・中・高一貫で、知的障がいに加え肢体不自由、病弱の児童・生徒を対象とした新しい特別支援学校を整備するもので、2025年度開校を目標に進められています。本寄附金は特別支援学校のスクールバスや備品の購入に活用される予定です。



新特別支援学校イメージ図

### 野村IR資産運用フェア2023 online 出展のお知らせ

当社は、2023年1月12日(木)、13日(金)、14日(土)、16日(月)にオンライン上で開催される野村IR資産運用フェア2023に出展します。

当社の出典ブースでは、会社説明動画等を掲載します。この機会により多くの皆様に当社へのご理解を深めていただくと幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

野村IR資産運用フェア2023 onlineの詳細はこちら

<https://fair.nomura-ir.co.jp/>

## 連結財務諸表

連結損益計算書	前第2 四半期 連結累計期間	当第2 四半期 連結累計期間
	(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	25,291	31,097
売上原価	12,959	16,302
売上総利益	12,332	14,795
販売費及び一般管理費	6,173	6,975
営業利益	6,158	7,819
営業外収益		
受取利息	27	35
受取配当金	15	22
為替差益	6	526
その他	158	48
営業外収益合計	207	633
営業外費用	9	159
経常利益	6,357	8,293
特別損失	—	66
税金等調整前四半期純利益	6,357	8,226
法人税、住民税及び事業税	1,686	2,270
法人税等調整額	△133	△199
四半期純利益	4,803	6,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,803	6,155

(単位：百万円)

### 売上高

PC及びスマートフォン市場の落ち込みに伴いロジック、メモリデバイスともに需要は軟化し、在庫の増加が見られるも、先端半導体デバイスは高稼働が続いたことからシリコンウェハー向け及びCMP向け製品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比23.0%増の31,097百万円となりました。

### 営業利益

前年同期比27.0%増の7,819百万円となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比28.1%増の6,155百万円となりました。

### 海外売上高 (仕向先別)

(第2 四半期連結累計期間)

※各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりです。

■アジア：台湾、ベトナム、シンガポール、マレーシア、韓国、中国

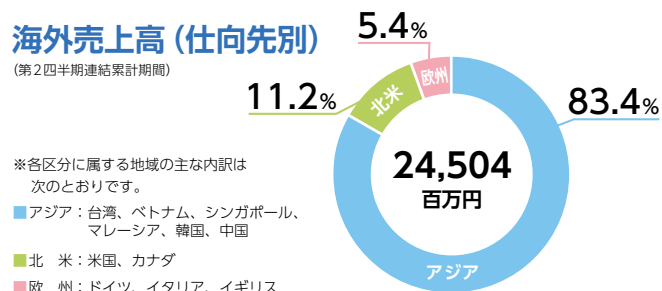
■北 米：米国、カナダ

■欧 州：ドイツ、イタリア、イギリス

### 海外売上高

	前第2 四半期 連結累計期間	当第2 四半期 連結累計期間
	(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
海外売上高	19,708	24,504
連結売上高	25,291	31,097
連結売上高に占める割合	77.9%	78.8%

(単位：百万円)



## 連結貸借対照表

	前 連結会計年度	当第2 四半期 連結会計期間
	(2022年3月31日)	(2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,662	33,547
受取手形及び売掛金	11,581	14,261
有価証券	4,900	3,000
たな卸資産	9,325	11,689
その他	595	501
貸倒引当金	△ 15	△ 20
流動資産合計	58,049	62,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,528	6,845
その他(純額)	7,697	8,393
有形固定資産合計	14,225	15,239
無形固定資産	349	301
投資その他の資産		
投資有価証券	1,844	2,203
繰延税金資産	1,108	1,350
その他	116	118
貸倒引当金	△ 9	△ 9
投資その他の資産合計	3,059	3,663
固定資産合計	17,634	19,203
資産合計	75,684	82,183

	前 連結会計年度	当第2 四半期 連結会計期間
	(2022年3月31日)	(2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,986	4,399
未払法人税等	2,307	2,031
賞与引当金	1,395	2,074
株式給付引当金	796	14
その他	2,999	3,420
流動負債合計	11,484	11,940
固定負債		
退職給付に係る負債	903	898
株式給付引当金	43	43
その他	285	347
固定負債合計	1,232	1,289
負債合計	12,717	13,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	6,878	5,038
利益剰余金	55,705	58,651
自己株式	△ 6,753	△ 3,685
株主資本合計	60,584	64,757
その他の包括利益累計額	2,383	4,196
純資産合計	62,967	68,953
負債純資産合計	75,684	82,183

(単位：百万円)



### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べて1,719百万円減少し、2,811百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が増加したものの、棚卸資産が増加したこと、法人税等の支払額が増加したこと及び株式給付引当金が減少したことによるものであります。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、前年同期に比べて65百万円減少し、38百万円となりました。これは主に、有価証券の償還による収入が増加したものの、投資有価証券の取得による支出があったことによるものであります。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、前年同期に比べて913百万円増加し、2,573百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことによるものであります。

### 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、配当ににつきましては連結配当性向を50%以上とすることを目標として、業績に応じた積極的な株主還元を実施するとともに安定配当の継続にも留意することを基本方針としております。このような方針のもと、1株につき中間配当を期初予想の95円から15円増配の110円（前年同期比25円増）とし、年間配当は期初予想の200円から20円増配の220円（前期比35円増）とする予定です。

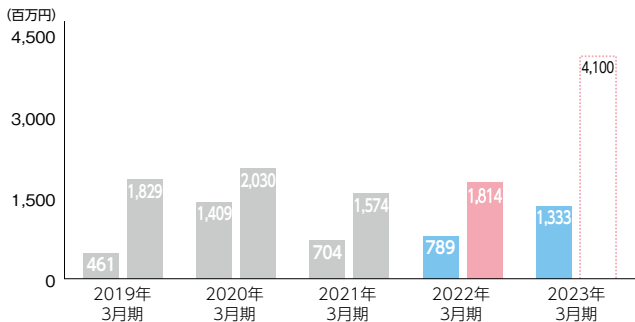
### 連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2 四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2 四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	4,530	2,811
●投資活動によるキャッシュ・フロー	103	38
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,660	△2,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	91	946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,066	1,223
現金及び現金同等物の期首残高	29,418	34,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,484	35,626

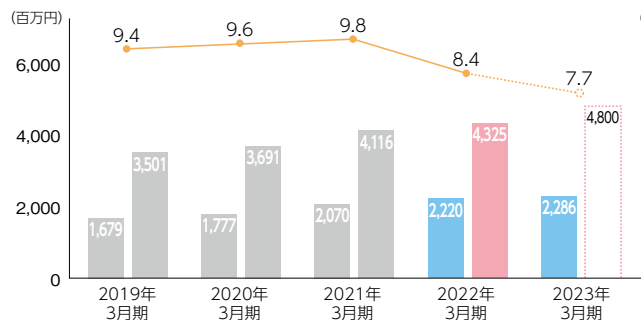
(単位：百万円)

■ 上期 ■ 通期 ※2023年3月期通期予想値

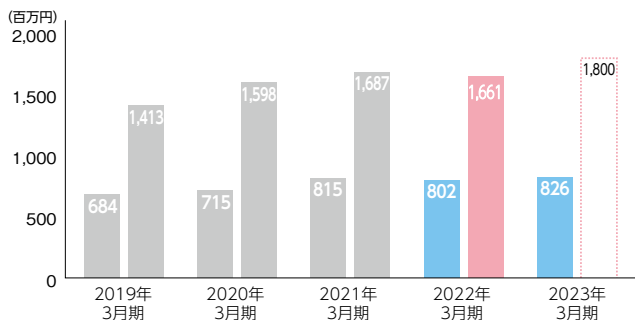
### 設備投資



### 研究開発費・売上高比



### 減価償却費



### 株式情報

2022年9月30日現在

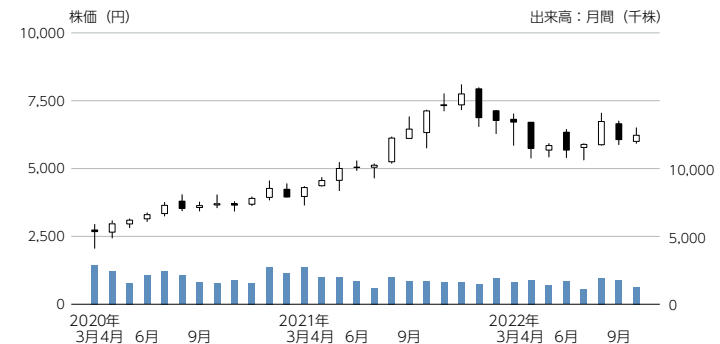
#### 株式の状況

株式数	発行可能株式数	120,000千株
	発行済株式総数	26,699千株
	株主数	7,780名

大株主(株主名)	持株数 (千株)*1	①持株比率 (%)*2	②持株比率 (%)*3
有限会社コマ	4,460	17.6	16.7
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	2,773	10.9	10.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,424	5.6	5.3
GOLDMAN, SACHS & CO.REG	783	3.0	2.9
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	751	2.9	2.8
株式会社三菱UFJ銀行	728	2.8	2.7
株式会社かんぽ生命保険	655	2.5	2.4
フジミ取引先持株会	640	2.5	2.3
日本生命保険相互会社	639	2.5	2.3
一般財団法人越山科学技術振興財団	600	2.3	2.2

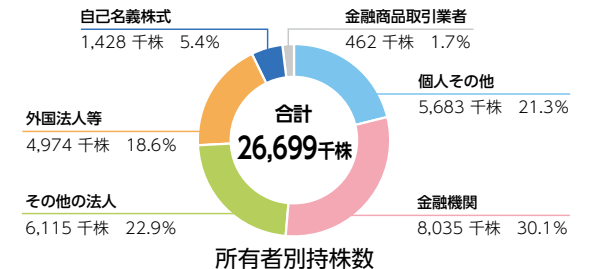
\*1 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2以下を切り捨てております。  
\*2 ①持株比率は、自己株式(1,428,341株)を控除して計算しております。  
\*3 ②持株比率は、自己株式(1,428,341株)を含めて計算しております。

### 株価及び出来高の推移



### 株主分布状況

2022年9月30日現在



### 役員

2022年  
9月30日現在

代表取締役社長	関 敬史
常務取締役	大脇 寿樹
常務取締役	鈴木 勝弘
取締役	川下 政美*
取締役	浅井 侯序*
取締役	吉村 温子*
常勤監査役	藤川 佳明
監査役	高橋 正彦**
監査役	岡野 勝**

\*印は社外取締役 \*\*印は社外監査役

### 会社データ

2022年9月30日現在

商号	株式会社フジミインコーポレーテッド
証券コード	5384
本社所在地	愛知県清須市西枇杷島町地領2-1-1 TEL. 052-503-8181 (代表)
設立年月日	1953年(昭和28年)3月20日
資本金	4,753百万円
代表者	代表取締役社長 関 敬史
従業員	1,016名(単体720名)